

You Tube
録画中継は
こちらから

中　尾　利　香
（自民公明クラブ）

窓口時間短縮の効果検証を

今年度中に検討を進め 本館１階から試験的に実施

問　市民にも職員にも負担の少ない窓口を目指すため、デジタル化を進めるとともに窓口受付時間の短縮を試験的に行い、効果を検証しては。

答　市民の利便性向上等を目的に設置した窓口改革ワーキンググループにおいて、今年度中に検討を進めることとしており、本館１階フロアから試験的に実施し、影響と効果を検証します。

問　中心市街地活性化基本計画終了後の中心市街地商店街の景観について、どのような方針、計画に基づいて取り組んでいるのか。

答　商店街関係者などで構成される「商店街エリアビジョン策定検討会」において、アーケード撤去を含めた新たな魅力向上など、将来像を具現化するエリアビジョン策定に向けた取組を重ねています。具体的な提案があった際には、費用対効果を検証しながら、実現可能なものについて支援していきます。

問　発達障がいのある高校生の卒業後の就職や自立等に関する相談・支援体制は。

答　障がい者基幹相談支援センター等において幅広い相談に対応しており、困り事を抱える方々の相談窓口の利用につながるよう、近隣高校とも連携し、誰一人取り残さない切れ目のない支援に取り組みます。

問　奥入瀬渓流温泉スキー場のシバザクラの来場者に、地元の食や特産品、お土産品などを購入してもらうための取組は。

答　芝桜アートマルシェが開催され、近年来場者が増加していることから、ニーズを把握し、食事や特産品等を販売する事業者を確保し、さらなる満足度向上と魅力発信に取り組みます。



You Tube
録画中継は
こちらから

中　嶋　秀　一
（自民公明クラブ）

ペットボトルキャップ 回収の推進を

試験的に市庁舎内に 回収容器を設置する

問　開発途上国へのワクチン支援活動につながるペットボトルキャップの回収を、市民の協力を得ながら推進してはどうか。

答　リサイクルや身近な社会貢献活動として意義深いものと認識しており、まずは市庁舎内に回収容器を設置し試験的に取り組みます。

問　各種警報発表時の観光客への周知はどのように行っているか。

答　レベル３以上の警報が発表された場合、緊急速報メールのほか、防災行政無線等で周知しています。観光客には、宿泊・観光施設と連携し、メール連絡網で情報提供を行うほか、路線バスを運行するＪＲバスと連携を強化し、外国人観光客が翻訳機能等を通じて、災害情報やバス運行情報を取得できる環境を整備しています。

問　今年６月にレベル４土砂災害危険警報が市全域に発表されたが、具体的な対象地域が分かるように発表できないか。

答　青森地方気象台が市町村単位で発表しているため対象地域を限定した発表は難しく、市で速やかに対象地域を特定し、改めて市公式ラインや防災無線等でお知らせするよう努めます。

問　十和田湖畔地区住民が買物や病院等の用事を済ませるための交通機関を試験運行しては。

答　すでに実施している自家用有償旅客運送の一層の利便性向上を図るため、市街地までの延伸について運行事業者と協議を進めています。

問　次期地域公共交通計画策定の際、十和田湖畔地区を「生活交通を重点的に確保すべき地域」と位置づける考えは。

答　実情や課題等を総合的に勘案した上で、十和田市地域公共交通会議において協議します。